

医療ニュース

身の回りの出来事から国政情勢まで、教科書には載っていない世の中の動きを紹介します。

大村氏「微生物から勉強、力を借りただけ」

ノーベル生理学・医学賞を、大村智(さとし)氏が受賞

スウェーデンのカロリンスカ研究所は5日、2015年のノーベル生理学・医学賞を、大村智(さとし)北里大特別栄誉教授(80)ら3人に贈ると発表した。

大村氏は、抗寄生虫薬「イベルメクチン」のもとになる物質を発見。途上国の寄生虫病患者に年1、2回使用することで、失明を防ぐ薬の開発につなげた業績が、高く評価された。イベルメクチンは年間2億人以上が使っている。

大村氏と、同時受賞したのは、アメリカのドリュー大のウィリアム・キャンベル博士…「寄生虫病の新たな治療に関する発見」。

中国中医科学院のトゥーユーユー氏…「マラリアの治療法に関する発見」である。

大村氏は記者会見で、「微生物から勉強させてもらって、こんな賞をいただいているのかと思った。(研究成果は)微生物から力を借りただけ」、「(日本に)微生物を世の中のために使う伝統があり、そういう環境に生まれて良かった。先輩たちが築いてくれた学問分野だ」と振り返り、「若い人たちがこの仕事を続け、世の中に役に立てばと期待する」と語った。

大村氏の業績

静岡県の
ゴルフ場近くの
土を採取

培養

土の中の微生物から
寄生虫を駆除する
抗生物質を発見

創薬

企業と共同で
抗寄生虫薬
イベルメクチンを開発

ノーベル賞 まめ知識!

- ①.2015年ノーベル物理学賞は、謎の多い素粒子ニュートリノに質量があることを突き止めた東京大学宇宙線研究所の梶田隆章所長(56)が受賞
- ②.ノーベル賞生理学・医学賞の日本人受賞者は、1987年の利根川進・米マサチューセッツ工科大教授、2012年の山中伸弥・京都大教授に続き3人目となる。